

氏名	滑川 道人	部署	共通教育科（兼）保健センター	職名	教授・センター長
研究分野	内科学、臨床神経学				
学位	博士（医学）				
学歴	1993年東京医科歯科大学医学部医学科				
経歴	1993年東京医科歯科大学医学部神経内科、94年自治医科大学医学部神経内科、98年同助手、2002年同助教、2010年同講師、2015年自治医大附属さいたま医療センター講師、2017年埼玉県立大学保健医療福祉学部教授、同保健センター所長、2018年埼玉県立大学大学院教授				
所属学会（役職）	日本内科学会（認定内科専門医、指導医）、日本神経学会（脳神経内科専門医、指導医）、日本脳卒中学会（脳卒中専門医）、日本神経感染症学会（評議員）、日本公衆衛生学会、日本早期認知症学会、日本医史学会、日仏医学会				

【2022年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月	
1	『新しいIPWを学ぶ---利用者地域とともに展開する保健医療福祉連携---』	共著	あり	中央法規、288ページ（うち7ページ）	滑川道人（著者） 埼玉県立大学（編集）	2022.04	
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	該当なし						
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	該当なし						
(4) その他							
	名称	単・共		発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	該当なし						
2. 競争的資金等の研究							
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	該当なし						
3. 教育業績							
(1) 講義							
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）			
1	内科学（2開講）	○	16 x 2	対象：看護、理学、作業、健康開発（以上、必修）、および社福（社福専攻）（選択）2年生。内科全般の内容を網羅。難易度：標準（2021年度はすべて遠隔実施（オンデマンド配信））			
2	脳神経内科学	○	16	対象：理学・作業2年生（必修）。脳神経内科学全般の内容を網羅。難易度：やや難（2022年度はすべて面接授業）			
3	老年医学	○	8	対象：理学、作業、社福、行動2年生（選択）。老年医学全般の内容を網羅。難易度：やや難（2022年度はすべて面接授業）			
4	内科学臨床講義	○	8	対象：理学・作業2年生（選択）。紙上事例を用いて、内科疾患を学ぶ。難易度：やや難（2022年度はすべて面接授業）			
5	先端医療	○	8	対象：検査4年生（選択）。アルツハイマー病の最新の知見について。難易度：難（2022年度は受講者なし）			
6	保健医療福祉と臨床神経学Ⅰ	○	16	対象：大学院前期課程。アクティブ・ラーニング形式。臨床神経学全体を網羅。脳卒中、神経変性疾患、脱髄疾患、先天性疾患。難易度：最難（2022年度は受講者なし）			
7	保健医療福祉と臨床神経学Ⅱ	○	16	対象：大学院前期課程。アクティブ・ラーニング形式。臨床神経学全体を網羅。神経感染症、脳腫瘍、自己免疫疾患、筋疾患他。難易度：最難（2022年度は受講者なし）			
8	フィジカルアセスメント		1	対象：大学院前期課程。脳・脊髄神経系の診察方法とアセスメント。難易度：難（2022年度は遠隔実施（ライブ配信））			
9	病態生理学		1	対象：大学院前期課程。脳・脊髄神経系疾患の病態生理学。難易度：難（2022年度は遠隔実施（ライブ配信））			

(2) 演習					
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	臨床病態学演習	○	16	対象：検査4年生（必修）。内科全般の最新の知見を網羅。難易度：難（2022年度はすべて面接授業）	
2	検査総合演習Ⅱ		1	対象：検査4年生（必修）。臨床検査医学総論全般の国試対策。難易度：標準（2022年度は面接授業）	
3	理学療法特別演習		1	対象：理学4年生（必修）。内科学/脳神経内科学全般の国試対策。難易度：標準（2022年度は面接授業）	
4	作業療法国家試験対策		1	対象：作業4年生（必修）。内科学/脳神経内科学全般の国試対策。難易度：標準（2022年度は遠隔実施（ライブ配信））	
5	老年看護学Ⅲ		1	対象：看護2年生（必修）。老年医学概論講義。難易度：標準（2022年度は遠隔実施（ライブ配信））	
(3) 実習					
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	IPW実習	○	45時間	対象：全4年生（必修）。実習担当者会メンバー（教員担当）。新規実習施設開拓メンバー。	
2	精神保健福祉援助実習Ⅰ		1	対象：社福4年生（選択）。COVID-19感染対策について。	
(4) 論文指導					
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数		
1	修士論文	2022.04～2023.03	主指導（指導教員）	0名	副指導（指導補助教員） 2名
2	博士論文	2022.04～2023.03	主指導（指導教員）	0名	副指導（指導補助教員） 1名
(5) その他					
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	大学院後期課程論文審査会 主査	2022.10.15	担当学生名：鈴木 貴子（学籍番号：2091007）		
4. 社会貢献活動					
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師					
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ		開催年月
1	高校生を対象とした出張講座	埼玉県立本庄高校	埼玉県立本庄高校で開催。「脳のフシギ：上手な脳のつかい方」のタイトルで、高校生を対象に最新脳科学について講演した（50分間×2開講）。		2022.10.07
2	清透祭講演会	埼玉県立大学後援会	「学内におけるこの3年間のコロナ感染への対応の総括」のタイトルで、学生・教職員・保護者を対象に学内コロナ対策について総括した（1時間）。		2022.10.30
3	令和4年度「チーム-3キロ」『医師に質問！ 検査データとメタボリックシンドローム』	埼玉県越谷市	越谷市保健センターにて開催。健診データの読み方、メタボリック症候群の基礎、そしてCOVID-19についての講演会（1時間30分）。		2022.12.8
4	第94回「たけさとカフェ」講演会	春日部市武里地区公民館	「冬の過ごし方」のタイトルで、COVID-19やインフルエンザ、ヒートショック、餅の食べ方など、冬にまつわる健康講話（2時間）を実施した。		2022.12.16
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等					
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期	
1	埼玉県	埼玉県感染症発生動向調査検討委員会		2021.4～2023.3	
2	埼玉県	埼玉県総合医局機構委員会委員		2022.2～2024.2	
3	さいたま市	さいたま市歯科口腔保健審議会		2021.4～2023.3	
4	日本神経学会	医療安全委員会（関東甲信越地区担当）		2021.4～2023.3	
(3) ジャーナリズムでの発言					
	メディア等の名称	内容			年月
1	広報こしがや	「コロナ禍で増加?! 帯状ほう疹にご注意を」と題したコラムが掲載。			2022.4
2	東武よみうり	「かつてない猛暑 死に至る熱中症」の記事に、熱中症の発症や対応についてコメントした。			2022.7

(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	保健委員会 委員長 (保健センター所長、学校医)		2021.4～
2	全学的委員会及びセンター業務等	学生支援委員会 委員		2021.4～
3	全学的委員会及びセンター業務等	障害学生支援検討委員会 委員		2021.4～
4	全学的委員会及びセンター業務等	衛生委員会 委員 (保健センター所長、産業医)		2021.4～
5	全学的委員会及びセンター業務等	新型コロナウイルス感染症対策会議 (SPU Beat the COVID-19) メンバー		2020.2.26～
6. 受賞 (研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			